

名古屋大学≪生命農学研究科・助教≫公募要領

1	募 集 件 名	助教の公募	
2	募集者の名称	国立大学法人東海国立大学機構	
3	所 属	大学院生命農学研究科附属鳥類バイオサイエンス研究センター	
4	募 集 内 容	[職務内容（業務内容、担当科目等）] 名古屋大学大学院生命農学研究科では、生命科学の基盤の拡充、生物機能・生物資源の高度利用、生命共生環境の創出・保全、及び持続的生物生産と先端生命科学の技術開発を通して環境に調和した人類の発展を目指す総合的な学問分野として「生命農学」を位置づけ、創造的な研究活動によって真理を探究し、生命農学に関して世界屈指の知的資産形成・蓄積と継承に貢献することを使命としています。 鳥類バイオサイエンス研究センターは、ポストゲノム時代の鳥類バイオサイエンス研究を強力に推し進めるとともに、鳥類遺伝資源の維持・管理・開発・提供を通じて日本の鳥類バイオサイエンス研究をサポートすることをミッションとして設立され、2022 年 4 月に行った改組により、基礎研究をさらに推進するとともに、応用研究及び東海地域の家禽関連機関との連携を強化していくための体制を整えています。 今回の助教の公募では、基礎・応用を包含した家禽のバイオサイエンスに関する先端研究及び教育を推進するとともに、保有系統・新規開発系統の維持・育種・高度化等を進め、合わせて名古屋大学の戦略的パートナー大学であるエジンバラ大学やノースカロライナ州立大学などの家禽・リソース関連部門との国際連携を図ることにより、家禽を用いたバイオサイエンスへの貢献と生産性向上への応用を目指し、新しい研究領域を開拓しうる熱意のある人物を求めます。上記及びその関連分野において優れた業績をあげつつあり、センターの管理運営に責任感と協調性をもって携わる人物が望まれます。 (雇入れ直後) ・上記の選考方針に沿って、西島謙一センター長と連携して鳥類バイオサイエンス研究センターと大学院生命農学研究科における先端研究・教育及びセンターにおけるニワトリ・ウズラリソースの維持・管理運営・国際連携活動に携わっていただきます。 (変更の範囲) ・東海国立大学機構が指定する業務 [勤務地] (雇入れ直後) 愛知県名古屋市千種区不老町 (変更の範囲) 東海国立大学機構が指定する就業場所 [募集人員] 助教・1 名 [着任時期] 2027 年 4 月 1 日以降のできるだけ早い時期（応相談）	
5	募 集 研 究 分 野	大分類	農学、生物学
		小分類	実験動物学、家禽学、動物生命科学、動物生産科学、動物遺伝学

6	勤 務 形 態	常勤 契約期間：期間の定めあり（最長5年、2032年3月31日まで） 契約の更新可能性：なし
7	応 募 資 格	[必要な特定分野の資格・条件（学位などを含む）・専門性等の詳細] ・博士学位を有している者、または取得見込みの者 ・家禽を用いた実験動物学、家禽学、動物生命科学、動物生産科学、動物遺伝学などの研究分野で優れた研究実績をあげつつある者 ・センターでニワトリ・ウズラの維持・管理関連及び国際連携業務を担当できる者
8	待 遇	[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、雇用期間、保険等）] ・東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010928.htm ・給与は東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用教員給与規程において定める年俸制とする。 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110001585.htm ・専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分働いたものとみなされます。 ・受動喫煙防止措置：原則としてキャンパス内は喫煙禁止
9	応 募 期 間	2026年5月28日～2026年9月10日（日本時間正午必着）
10	応 募 ・ 選 考 結 果 通 知 連 絡 先	[応募方法（提出書類の送付先）] （1）応募する旨を明記した書類（応募者の連絡先、電話番号、電子メールアドレス等を含む） （2）履歴書（様式自由、年号は西暦で表記） （3）研究業績リスト（責任著者に＊を付し、原著論文、総説、著書、その他〔知的財産等〕に分けてリストを作成すること） （4）現在までの研究の概要（2,000字程度、研究業績リスト番号を引用のこと） （5）今後の研究・教育に関する計画と抱負（2,000字程度） （6）センターにおいてニワトリ・ウズラリソース維持・管理業務を遂行していくことについての考え(800字程度) （7）センターにおいてエジンバラ大学やノースカロライナ州立大学などとの国際協働を進めていくことについての考え(800字程度) （8）研究費獲得状況（科学研究費補助金等の競争的資金について、代表と分担に分けて、名称と直接経費の額を明記のこと。年号は西暦で表記すること。） （9）応募者について照会できる方2名の氏名、連絡先、電話番号、電子メールアドレス （10）「類型該当性判断のフローチャート」と「類型該当性の自己申告書」 （11）その他 のリンク先に提示した「様式1」) （11）論文等のPDFファイル（5編以内） ・上記の（1）～（10）の提出書類を一つにまとめたPDFファイルと書類「(11)論文等のPDFファイル」を下記の宛先に電子メールの添付書類として送付・提出してください。 応募書類の宛先： 名古屋大学大学院生命農学研究科 附属鳥類バイオサイエンス研究センター助教選考委員会委員長 西島謙一 宛 E-mail：koubo-av[at]agr.nagoya-u.ac.jp

		(E-mail の[at]は@に置き換えてください。) ※メールのタイトルは「鳥類バイオサイエンス研究センター助教応募 (氏名)」としてください。 ※1つのメールに添付できるファイル容量の上限は 60Mb です。ファイル容量が大きい場合には、2つ以上のメールに分割添付して送付してください。不明な点があれば、委員長までお問合せください。 ※応募締め切りの3日後までに応募書類を受領した旨の連絡 (電子メール) がない場合には、委員長までお問合せください。 ※問い合わせは委員長宛に、下記アドレスへの電子メールにてお願いします。 E-mail : koubo-av[at]agr.nagoya-u.ac.jp (E-mail の[at]は@に置き換えてください。) [選考内容 (選考方法、採否の決定)] ・書類選考の上、面接を実施することがあります (対面またはオンライン、応相談)。なお、対面での面接を実施する場合の交通費は自己負担とします。 ・採否の結果については、原則、電子メールで連絡します。
11	そ の 他	・本募集では研究業績、教育業績、社会的貢献、人物等の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。 ・出産・育児・介護・病気等の理由により、過去に研究活動を中断・遅延した期間があれば、その点を履歴書に記載することができます。本学ではそれを記載したことにより不当な評価を受けることはありません。 ・本学では、多様性の推進やワークライフバランスの促進に、積極的に取り組んでいます。詳細については以下のURL をご覧ください。 ジェンダーダイバーシティセンターWebサイト： https://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/ ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン & ビロッキング (Diversity, Equity, Inclusion & Belonging: DEIB) 推進宣言： https://www.thers.ac.jp/about/declaration/deib/index.html ・2021 年 11 月「外国為替及び外国貿易法」(外為法) に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」(https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/general/fefta.html の「様式 1」)の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。 ・応募データは、本選考以外の目的には使用しません。 ・応募データは、本選考委員会が責任を持って処分します。